



キャンプ座間内の通りに命名されたトモダチ・アベニューの標示

◇目 次◇

- 1 キャンプ座間で東日本大震災復興・追悼式典
- 2 FMフルー湘南への出演
- 3 夜間巡回パトロール
- 4 地方公共団体に在職する退職自衛官(防災担当)との意見交換会
- 5 第18回防衛問題セミナー
- 6 日米スポーツ及び食文化交流
- 7 米軍施設の一般開放
- 8 防衛施設周辺的生活環境等の整備のための補助事業
- 9 中型掃海艇「えのしま」引渡式
- 10 南関東防衛施設地方審議会

1 キャンプ座間で東日本大震災復興・追悼式典



道路標示除幕の様子

平成24年4月25日（水）、在日米陸軍キャンプ座間において、「東日本大震災復興・追悼式典」が行われました。

式典には、宮城県の村井知事をはじめ、米軍がトモダチ作戦で支援を行った被災自治体の関係者が招かれました。

式典では、震災被災者を偲び、かつ、米軍と自衛隊の緊密な関係に敬意を表し、キャンプ座間内の3つの道路を、トモダチ・アベニュー、センダイ・ストリート、イシノマキ・アベニューと改名したことが紹介され、道路標示が披露されました。



2 FMブルー湘南への出演

平成24年度も引き続き出演します

放送局:FM・ブルー湘南(78.5MHz)

番組名:「遊びに来ませんかスタジオへ」

放送時間:(本放送)毎月第3木曜日 1500~1530

(再放送)翌々日曜日 1600~1630

※再放送は本放送の10日後となります。

出演予定:南関東防衛局及び神奈川県内所在部隊等

防衛省・自衛隊の各種施策や横須賀周辺の部隊行事などについてパーソナリティーの鈴木さんと楽しくトークしますので、是非お聴き下さい!

FMブルー湘南のインターネット配信が開始されました。

FMブルー湘南のホームページ
<http://www.yokosukafm.com/>
インターネットサイマルラジオのバナーをクリックして、お聴き下さい。



クリック



写真は、「米海軍横須賀基地の紹介」3月15日放送時のスタジオの様子
左から、南関東防衛局 山本局長、米海軍横須賀基地司令官 オーエン大佐、杉田 広報報道専門官

3 夜間巡回パトロール



写真上：左から 吉田 横須賀市長
山本 南関東防衛局長
写真下：左から 関根 神奈川県基地対策部長
上田 町内会代表
山本 南関東防衛局長

神奈川県横須賀市の繁華街において、平成24年度に入り、4月27日及び5月11日の2回にわたって、地元町内会、神奈川県、横須賀市、米海軍横須賀基地、ガーディアン・エンジェルス（各地でパトロールを実施するNPO）、横須賀警察署、海上自衛隊横須賀地方隊及び南関東防衛局が参加して夜間巡回パトロールが実施されました。

平成6年10月の初回から数えて193回目となった5月11日のパトロールには、南関東防衛局から山本局長ほかに参加しました。

この夜間巡回パトロールは、毎月1回程度のペースで金曜日の午後10時30分から午前0時00分までの間、米海軍横須賀基地に近いドブ板通り、京急汐入

駅周辺、街中の公園、京急横須賀中央駅周辺等を一巡するもので、途中で会った人々たちへの声掛けを行ったり、路上に落ちている吸い殻や空き缶などのゴミを拾いながら巡回パトロールすることにより、犯罪の防止や街の美化に寄与しております。

近年は路上のゴミも減り、また、声掛けにより人々の関心も高まってきており、地元町内会が主体となって、米軍や行政機関等が参加する草の根の活動は継続的に実施することが重要です。南関東防衛局としては、今後とも積極的にこの取り組みに参加していきます。



夜間巡回パトロールの様子

4 地方公共団体に在職する退職自衛官（防災担当）との意見交換会

平成24年5月30日（水）、南関東防衛局において、地方公共団体に在職する退職自衛官（防災担当）との意見交換会を実施しました。

会議には、山本局長以下、当局幹部、当局管内の神奈川県、静岡県、山梨県の各県及び市町に勤務する退職自衛官14名のほか、関係機関として、陸上自衛隊東部方面総監部、海上自衛隊横須賀地方総監部、静岡、山梨、神奈川の各自衛隊地方協力本部、在日米海軍司令部から関係者が、更に、東北防衛局、北関東防衛局からも参加して行われました。

会議は、冒頭の南関東防衛局山本局長による主催者挨拶に始まり、

東北防衛局から「東日本大震災における関係部外機関等との連携」

在日米海軍司令部から「米海軍沿岸施設（基地）の災害対策のガイドライン」と題し、プレゼンテーションが行われました。



山本局長による挨拶

「平素からの関係者、関係機関の『意思疎通ネットワーク』を構築し、協力の基盤を作っておくことが重要。各々の取り組み、問題意識を共有し、『ネットワークの強化』及び『関係機関の連携の強化』に寄与したい。」

東北防衛局 防衛補佐官 鈴木1等陸佐
「東日本大震災における関係部外機関等との連携」
震災時の自衛隊と自治体・関係機関等との連携について
○自衛隊の活動等の経過
○自治体・関係機関との連携・調整内容
○教訓事項
○陸上自衛隊東北方面隊の今後の取り組み
震災時の東北防衛局の活動状況及び教訓について紹介



在日米海軍司令部
セオドア・ショー計画検討共同訓練担当官
「米海軍沿岸施設（基地）の災害対策のガイドライン」
○米国政府内の災害対処について体系的な説明
○日本における米海軍と地域社会との連携、協力の取り組みについて紹介



更に、自治体を代表して、
 神奈川県から「東日本大震災を踏まえた県の防災訓練について」、静岡県から
 「大規模災害時における在日米軍との連携強化に向けて “下田ミーティング” 開催の成果」、御殿場市から「富士山噴火等にかかる周辺自治体の準備等について」と題してプレゼンテーションが行われました。



左から、
 神奈川県 安全防災局危機管理部 尾崎参事
 「東日本大震災を踏まえた県の防災訓練について」
 静岡県 危機管理部危機対策課 小平危機調整監
 「大規模災害時における在日米軍との連携強化に向けて “下田ミーティング” 開催の成果」
 静岡県御殿場市 松田危機管理監
 「富士山噴火等にかかる周辺自治体の準備等について」
 それぞれの自治体の取り組み等について紹介

引き続き、意見交換・質疑応答において、
 参加者及びそれぞれの組織における取組、
 経験等を踏まえた紹介、提言がなされるなど、
 予定時間を超え、活発な議論が交わされました。

今回の意見交換会を契機に、引き続き関係機関担当者との密接な連携を図り、災害を始め、各種事態に適切に対応できるよう、協力関係を深めてまいります。



5 第18回防衛問題セミナー

南関東防衛局は3月12日（月）、神奈川県横須賀市の横須賀芸術劇場において、「自衛隊の国際協力開始20周年～国際協力20年を振り返って～」をテーマに第18回防衛問題セミナーを開催しました。

今回のセミナーは3部構成で、山本南関東防衛局長による主催者挨拶並びに古尾谷神奈川県副知事及び吉田横須賀市長からの来賓挨拶から始まりました。

第1部 講演 渡辺周防衛副大臣

「自衛隊の国際協力開始20周年に当たって」

第2部 講演 東京大学東洋文化研究所松田康博教授

「日本の国際平和協力活動：その意義と国際的な比較」

第3部 対談 元海将補 落合峻氏、五島浩司1等海佐（※）

コーディネーター：当局古屋企画部長

「自衛隊の国際協力20周年を振り返って」



写真上 渡辺副大臣
写真下 松田教授



（※）

落合峻氏 20年前の自衛隊初の国際協力活動であるペルシャ湾への掃海艇派遣部隊指揮官
五島浩司1等海佐 第1次派遣海賊対処水上部隊指揮官（現第1海上補給隊司令）

五島1佐が指揮をしたソマリア沖・アデン湾での海賊対処活動は、平成21年3月から現在も引き続き活動中です。



左から 五島1等海佐、古屋企画部長、落合氏

約560名の聴講者に来場いただき、「バランスの良い3部構成で、それぞれの意見が聞けて良かった。」、「普段あまり聞くことのできない内容であり、大変有意義であった。」などの感想が寄せられ、盛況なセミナーとなりました。

6 日米スポーツ及び食文化交流



平成24年3月24日（土）、南関東防衛局主催により、日米交流事業「日米スポーツ及び食文化交流」を横浜市瀬谷区の米海軍上瀬谷通信施設の施設内グラウンドにおいて開催しました。

開催にあたり、在日米海軍厚木航空施設司令官のウィーマン大佐及び米軍関係者の協力を頂き、米海軍厚木航空施設の米側児童と瀬谷区の日本側児童を中心に約100名が参加し、野球や食文化を通じて交流を行いました。



今回は、ウィーマン大佐による講話、野球教室のあと、日米児童の混合チームによる野球大会が行われ、その後、食文化交流として、米側から手作りハンバーガーの試食会、日本側から餅つきやそば打ちの体験が催されました。特に、普段あまり体験したことがない餅つきやそば打ちに参加者が多数集まるなど大盛況でした。

時おり小雨が降るなかでの開催となりましたが、雨にも負けず子供たちは元気よくグラウンドを駆け回るなど、お互いの交流を深める絶好の機会となりました。



餅つきをするウィーマン大佐

7 米軍施設の一般開放

平成24年5月12日（土）、在日米軍と地域住民との交流を目的とする施設一般開放のイベントが、米軍池子住宅地区（神奈川県逗子市）とキャンプ富士（静岡県御殿場市）で、それぞれ行われました。

両会場とも、バンド演奏や模擬店などで賑わい、親子連れなど多くの市民が訪れ、米軍人、軍属やその家族との交流を楽しみました。



池子フレンドシップデーの様子



キャンプ富士フレンドシップフェスティバルの様子



8 防衛施設周辺の生活環境等の整備のための補助事業



赤坂会館全景

赤坂会館



赤坂会館落成式テープカットの様子
左から、山本 南関東防衛局長、渡辺 富士吉田市議会議員、堀内 富士吉田市長、木村 赤坂自治会長、渡辺 赤坂会館建設委員

平成24年3月27日（火）、富士吉田市に、北富士演習場周辺の民生安定施設助成事業として、赤坂会館が完成し、落成式が行われました。同施設は、地域の方々の様々なコミュニティ活動等の拠点として使用されています。

同じく、5月22日（火）、富士吉田市に、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用した水道施設「^{やっくら}谷倉配水場」が完成し、竣工式が行われました。同施設は、十分な耐震性と安全性が確保されており、「安心・安全な水道水」を供給する水道施設となっています。

やっくら
谷倉配水場



完成した谷倉配水場



水道施設「谷倉配水場」竣工式テープカットの様子(写真は、富士吉田市提供)
左から、広瀬 富士吉田市管工事協会副理事長、山本 南関東防衛局長、堀内 富士吉田市長、渡辺 富士吉田市議会議員、鈴木 富士吉田市自治会連絡協議会長

9 中型掃海艇「えのしま」引渡式

平成24年3月21日（水）、ユニバーサル造船株式会社京浜事業所において、中型掃海艇「えのしま」（平成20年度契約、570トン型）の引渡式が行われました。当日は防衛省の代表として海上自衛隊河村横須賀地方総監はじめ多数の防衛省関係者、会社関係者など約240人の人々が見守る中、引渡式が行われました。

「えのしま」は、従来の木製の船体からFRP製（繊維強化プラスチック）になった1番艇です。

平成21年5月14日に起工、平成22年10月25日に進水を経て平成24年3月21日に引渡されました。



（写真はユニバーサル造船㈱提供）

10 南関東防衛施設地方審議会



平成24年3月9日（金）、平成23年度南関東防衛施設地方審議会が、横浜市内のホテルにおいて開催されました。

本審議会は、不動産に係る権利の対価の額や損失が生じた場合の補償額等について、地方防衛局長の諮問に応じて審議する機関として、地方防衛局に置かれています。

当日は、審議する事案はありませんでしたが、当局から、横浜市に所在する米軍根岸住宅地区について業務紹介を行いました。

審議会に引き続き、委員の方々には、根岸住宅地区において現地を視察していただき、当日の日程を終了しました。



挨拶を行う石井会長



米軍根岸住宅地区を現地視察